

ナースが聞いた 「死ぬ前に語られた後悔トップ5」

1. 自分自身に忠実に生きれば良かった

「他人に望まれるように」ではなく「自分らしく生きれば良かった」
という後悔が最も多い、人生の終わりに達成できなかった夢が沢山あったという
気持ちのまま世を去ることに人は強く無念を感じるようです。

2. あんなに一生懸命働かなくても良かった

男性の多くが後悔、仕事に時間を費やしすぎてもっと家族と一緒に過ごせばよかつ
た

3. もっと自分の気持ちを表す勇気を持てばよかった

世間でうまくやっていく為に感情を殺した結果、可もなく不可もない存在で終わった

4. 友人関係を続けていれば良かった

人生の最後の数週間に人は友人の本当の有難さに気づく、連絡が途絶えてしまっ
た、かつての友達に思いを馳せ、もっと友達との関係を大切にしておくべきだった
と後悔する

5. 自分をもっと幸せにしてあげればよかった

「幸せは自分で選ぶものだ」と気づいていない人がとても多い、
旧習やパターンに絡めとられた人生を「快適」と思ってしまい変化を無意識に恐
れ「選択」を避けていた人生に気づき、悔いを抱えたまま世を去っていく人が多
い